

市長意見の提出状況
（（仮称）姉崎火力発電所新 1～3号機建設計画
に係る計画段階環境配慮書）

1 市原市長意見

意見あり（別添 1）

2 袖ヶ浦市長意見

意見あり（別添 2）



別添 1

市環管第 1377 号

平成 28 年 11 月 7 日

千葉県知事 鈴木 栄 治 様

市原市長 小 出 譲 治



(仮称) 姉崎火力発電所新 1 ～ 3 号機建設計画に係る計画段階環境配慮書
に対する意見について (回答)

平成 28 年 10 月 7 日付け環第 516 号にて照会のありました件について、別紙のとおり回答します。

(仮称) 姉崎火力発電所新1～3号機建設計画に係る計画段階環境配慮書に
対する意見について (回答)

市 原 市

この計画は、株式会社 JERA が、東京電力フュエル&パワー株式会社姉崎火力発電所において、既設の1～4号機を廃止し、新たに発電効率の高い天然ガスを燃料とするガスタービン・コンバインドサイクル発電方式(出力195万kW)の設備を設置するものです。

既存の火力発電設備と比べて硫黄酸化物、ばいじんの排出がなくなり、また窒素酸化物の排出量も減少する予定であり、二酸化炭素排出原単位が小さい発電設備の運転に併せて、二酸化炭素排出原単位が高い既設火力発電設備の稼働が減少していくことにより、温室効果ガス排出削減に資することが期待できることから、最新鋭の天然ガス火力発電設備の導入及び稼働による二酸化炭素等排出削減に向けた着実な取り組みが必要です。

当該事業実施想定区域周辺には、住居、特別養護老人ホーム、学校、病院、及び公園等があり、火力発電所の建設及び稼働にあたっては、自然災害等に起因する工場事故及び新たな健康被害が懸念されるところです。

したがって、今後の事業計画の検討にあたっては、安全性を重視することはもとより、環境への負荷のより一層の回避及び低減を図るための措置を講じ、周辺住民等からの理解を得ることができる計画としていただくため、審議過程で出された意見を下記のとおり申し述べます。

記

1 総括的事項

- (1) この計画に伴う環境影響を回避・低減するため、必要に応じて専門家等の助言を受けた上で、科学的見地に基づく十分かつ適切な調査を行い、予測及び評価並びに環境保全措置の検討を行うこと。
- (2) 今後の事業計画を検討するあたり、周辺住民等への丁寧な説明を行い、得られた意見を十分勘案すること。

2 各論

(1) 大気質について

- ① 実際の風向、風速等によっては予測と異なる結果が想定されるため、平均値と併せて、異なる気象条件に応じた調査、予測及び評価を行い、短期高濃度条件等の影響についても考慮し、適切な環境保全措置を検討すること。
- ② 煙突の高さについては、大気汚染物質の拡散状況やダウンウォッシュ等の影響が低減・回避されるよう適切な高さ及び配置計画となるよう検討すること。

(2) 水質について

- ① 新たな発電設備の稼働等に伴い発生する排水による水環境への影響について、必要な調査、予測及び評価を行い、閉鎖性水域である東京湾海域への影響低減のために適切な環境保全措置を検討すること。

(3) 温室効果ガスについて

- ① より効率的な天然ガスによる発電設備の導入を検討し、新たな発電設備の導入後は、適切な稼働及び維持管理を通じて、着実に二酸化炭素排出量を削減すること。

以上



別添 2

袖 環 第 1 9 8 3 号

平成 2 8 年 1 1 月 7 日

千葉県知事 鈴木 栄治 様

袖ヶ浦市長 出口 清



(仮称) 姉崎火力発電所新 1 ～ 3 号機建設計画 計画段階環境
配慮書に対する市長意見について (回答)

本市の環境行政につきましては、日頃からご指導ご協力頂き感謝申し上げます。

さて、平成 2 8 年 1 0 月 7 日付け、環第 5 1 6 号で依頼のありました標記の件について、下記のとおり回答いたします。

記

当該事業は、稼働後 5 0 年近く経過し老朽化した一部設備を廃止し、使用燃料を重油等から液化天然ガスに変更するとともに高効率な最新鋭の発電設備に更新するものであり、また総出力が 3 6 0 万 kW から 3 1 5 万 kW へ減少する計画であることから、従来よりも環境への負荷は低減されることが予測される。

しかしながら、現状では光化学オキシダントや微小粒子状物質について環境基準が未達成であるほか、東京湾の温排水問題も改善されていないことから、今後もより一層の配慮が必要である。

これらの状況を踏まえ、当該事業計画について、その趣旨を理解した上で、さらに最新の技術や新たに得られる知見についても、随時検討評価の対象とし、ばい煙や温排水に加え、地球温暖化の原因となる二酸化炭素についても排出削減に取り組み、環境影響のさらなる低減に努めることを要望する。